

# 『教育後援会だより』12号の発刊によせて

教育後援会会長 清水浩一



おきまして、再度会長に選任されました。今年度も皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

私たち教育後援会は、皆様方の子弟である学生が、一日でも早く進級し、卒業し、歯科医師国家試験に合格できるように大学との信頼関係を大切にし、大学の教育方針に協力しながら様々な活動を行っております。

数年前より、本来資格試験であり正解率六〇%をクリアすれば合格であったはずの歯科医師国家試験が、歯科医師需給問題等の関係により厚生労働省は、合格者の総数を規制しています。その結果、合格するためには、正解率七〇%以上でなければ歯科医師にならない状況になってきました。このような状況に対応するため、大学の教育方針もどんどん変化してきております。

そのために、今年度より開学以来の基準であった大学の学則の変更が行われました。従来は試験の六〇点以上で進級、卒業であったものが、六五点に引き上げられました。そのほか出席等、色々な基準が加味されるこの事でありまして、これらの変更点を詳しく説明していただけるのが、支部懇談会であります。

そこで、教育後援会の最も重要な活動の一つである支部懇談会が今年度も全国八カ所にて開催を予定しております。今年度は非常に大きな変更点もあり、大学より大友副学長、竹内副学長、赤石副学長、田村歯学部部長はじめ多数の先生方に出席をお願いしてございまして、会員の皆様方にはぜひご出席していただいて、大きく変わりました大学の教育方針や、進級、卒業に関する基準をご理解、ご質問等をしていただきたいと思います。ぜひともこの機会に、一人でも多くの会員の皆様方のご出席をお願い申し上げます。

最後に朝日大学と歯学部教育後援会の発展と、会員の皆様のますますのご健勝とご多幸を願い、ご挨拶とさせていただきます。

# 教育後援会だより

発行 / 朝日大学歯学部  
教育後援会  
〒501-0296 岐阜県瑞穂市  
穂積1851番地  
TEL 058-329-1198(直通)  
FAX 058-329-1069  
http://www.asahi-udkk.jp

## 平成20年度

# 役員紹介

### 顧問

宮田 侑 / 学校法人朝日大学理事長  
岩山幸雄 / 学長  
竹内 宏 / 副学長  
田村康夫 / 歯学部部長  
西垣 浩 / 歯学部事務部長

### 会長

清水浩一

### 副会長

東 隆  
廣石憲一  
駒形和男

### 常任幹事

吉田正之 / 支部長  
(北海道・東北・関東・甲信越・東京)  
中根逸朗 / 支部長 (静岡・愛知)  
渡辺泰弘 / 支部長 (岐阜)  
宇陀秀晃 / 支部長 (三重)  
草山和人 / 支部長 (北陸)  
小西和彦 / 支部長 (滋賀・京都)  
松岡輝彦 / 支部長 (奈良・和歌山)  
井ノ内順一 / 支部長 (大阪)  
岡本晴夫 / 支部長 (兵庫)  
越宗研作 / 支部長 (中国)  
宮内雄介 / 支部長 (四国)  
松本卓郎 / 支部長 (九州)  
盛島明隆 / 支部長 (沖縄)

堀田智仁  
神谷克敏  
村松典幸

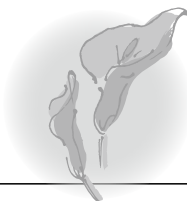
### 会計幹事

平岡睦雄

### 監事

高木久正  
林 時晴

※ 教育後援会への要望等がありましたら、ご遠慮なく支部長までご連絡ください。



## 平成20年度教育後援会支部懇談会日程

本年も6月7日(土)北海道・東北・関東・甲信越・東京支部懇談会を皮切りに全国8会場において支部懇談会を次のとおり開催します。大学からも多数の先生方に出席いただけますので是非ご出席ください。

開催日	場 所	支部名	大学出席者
6月7日(土) 12:30～16:00	南国酒家原宿店	北海道 東北 関東 甲信越 東京	◎ 永原教授 ○ 磯崎教授 ☆ 柏俣教授
6月22日(日) 16:30～18:15	アパホテル名古屋錦	静岡 愛知	◎ ☆ 永原教授 ○ 磯崎教授 高井教授
6月28日(土) 14:00～17:00	岐阜グランドホテル	岐阜 三重 北陸 九州 沖縄	◎ 永原教授 ○ 磯崎教授 ☆ 藤原教授 山本宏治教授 平田教授 北後講師
7月5日(土) 14:00～18:00	神戸ポートピアホテル	兵庫	◎ 永原教授 ○ 磯崎教授 ☆ 北井教授 後藤教授
7月12日(土) 13:30～19:00	新大阪江坂東急イン	大阪 奈良 和歌山	◎ 永原教授 ○ 磯崎教授 ☆ 土屋教授 後藤教授 土井教授 大橋准教授
7月19日(土) 13:00～20:00	京都センチュリーホテル	滋賀 京都	◎ 永原教授 ○ 磯崎教授 ☆ 北後講師 都尾教授
7月20日(日) 12:00～17:00	アークホテル岡山	中国	◎ 永原教授 ○ 磯崎教授 ☆ 澁谷教授 都尾教授
7月26日(土) 15:00～21:00	松山ワシントンホテルプラザ	四国	◎ ☆ 永原教授 ○ 磯崎教授 吉田教授

# 今、やろうとしていること



歯学部長 田村 康夫

「このところの朝日大学の国家試験合格率の低迷にしましては、教育後援会の皆様はもちろん同窓生にも心配をおかけしています。この結果に対し、教員一同は重く受け止め、昨年より教育システムの見直しと改善に努めていることでもあります。」

さて、国家試験に相對評価が導入され、また試験の内容および合格基準（必修問題八〇点合格、一般問題六三〜七〇点、臨床実地問題五八〜七一点、後者二科目の合格基準は年によって変動）が変わったから五年が経過としています。本学の国試結果は、一言でいえば、相對評価の現実に對しての対応の遅れと、力不足の学生を育ててきた結果だと反省しております。そして、その第一の原因は、我が学生の多くが進級のため六〇点を目標の勉強をしてきたことに尽きると考えています。四年生で実施される共用試験、特にCBTの結果をみましても、七〇点以上を取っている学生は国家試験にはほとんど合格していることも分かってきました。それ故、他大学の多くは、これに對処すべく数年前から六〇点目標の勉強から七〇点目標へと切り替えてきました。それだけ各学年の進級に對し、厳しく対応していることは言ってもあります。

その点、本学では学則により、長年にわたり定期試験の結果を六〇点を合格と定めてきました。昨年一年をかりて学則を改正し、二〇〇八年四月より定期試験六〇点の合格点を、まず定期本試験合格基準を六五点としました。近い将来にはこの基準をさらに上げていくことも考えています。

その一方で留年生が増えるのは、この配も出てくるでしょう。それへの対応として、新学期より各学年・各科目とも復習を中心とした自学自習の習慣を身につけさせる目的で、小テストや中間テストを頻繁に実施するつもりになりました。定期試験結果にこれら平常点も加味した総合判定により最終的に進級が決まりますが、普段は復習中心の勉強をしていきたら問題なく基準はクリアーできると考えています。

しかし、普段は勉強せずに定期試験の時だけ勉強してきた……、あるいは先輩から聞いて一夜漬けで、ヤマを張る方法、今後はどうせ通じなくなりますが。落第させるために厳しくするのでではなく、学力を付けさせるために厳しくするのはいいこと、教育後援会の皆様にもご理解をいただきたいと存じます。本当に歯科医師になりたいとさえ、今何をやらなければならぬかを分かっている学生は、間違いなく学力が伸びてくる我们相信しています。

## 総合評価の導入

教務委員長・学生生活委員長 永原 國央

文部科学省の大学審議会において示された「二十一世紀の大学像と今後の改革方策について」という諮問に對する答申の中で、「第二章 大学の個性化を目指す改革方策」が示されました。その中で「課題探求能力の育成」「教育研究の質の向上」において「教育方法等の改善」「責任ある授業運営と厳格な成績評価の実施」「成績評価基準の明示等」が示されており、「……日常の学生の授業への取り組みと成果を考慮して多面的な基準を設定することが望ましい。（抜粋）」といった内容が記載されています。

このことを受け、朝日大学学則が一部改正され、「成績評価（第三十条 第一項）履修した授業科目の成績は、試験の成績、平常の学習成績、出席状況等を総合して行うものとし、あらかじめ学生に對して成績評価基準を公表するものとする。」となりました。

朝日大学には周知の通り法学部、経営学部、歯学部があります。その中で、歯学部は歯科医師国家試験という最終目標があることで、他学部と評価の詳細は当然異なるものであり、実施においては、各学部において定め（学部細則等）実施されることになっています。

このことで、四月から歯学部でも総合評価が実施されており、各科目の成績評価基準は、四月のオリエンテーション時に学生諸君に配布し説明しました。

歯学教育は基礎科目を修得したうえで臨床科目を習得するというものであり、一年生から常に勉強するという生活リズム、モチベーションをもたせることが重要であります。しかし、今の朝日大学歯学部生は、学期末の定期試験の二週間前から勉強を始め、進級のための六〇点取得を目指す、といった学習態度であり、常日頃の講義の復習それに伴う生活習慣が無いのが現状です。総合評価においては、平常の成績に、講義中の小テスト、中間試験、レポート等を取り入れることができるようになることで、毎日の勉強に對する義務感が生まれ本を読んだり、手を動かしたりすることに、自ずと勉強時間、机に向かう時間が増え、大きな教育効果を生み出すことが期待されます。



これまでの学期末の試験のみで評価を行ってきた各科目の担当者には戸惑いがあり、いくつかの問題点が残っているものの、すべての結果が朝日大学歯学部生の学力アップ、ひいては歯科医師国家試験への高得点取得に繋がるものと考えています。

教育後援会の皆様においては、十分な御理解と御鞭撻をお願い申し上げます。

### 平成二十年度 学年指導教授・指導教員紹介

学生諸君が今年も充実した学生生活が過ごせるよう、助言するために各学年ごとに指導教授・指導教員が次のとおり決められております。

ご子女で、特に一年生につきましては、大学生活への期待と不安を抱きながら学問研究・真理研究・サークル活動にそれぞれ構想を抱いていると思いますが、悩み事等がある場合には躊躇することなく、相談するようお願いいたします。きっと良い相談相手になってくださると思います。

#### 一学年



教務担当  
後藤 隆泰 教授  
(物理学)



教務担当  
亀 水秀 男 講師  
(歯科理工学)



学生生活担当  
土屋 博 紀 教授  
(英語)



教務担当  
土井 豊 教授  
(歯科理工学)



教務担当  
岩堀 正俊 講師  
(可撤性義歯学)

#### 三学年



学生生活担当  
柏俣 正典 教授  
(歯科薬理学)



教務担当  
平田 健一 教授  
(歯冠修復学)



教務担当  
永山 元彦 准教授  
(口腔病理学)



学生生活担当  
大橋 たみえ 准教授  
(口腔衛生学)



教務担当  
高井 良招 教授  
(高齢者歯科学)

#### 四学年

#### 五学年



教務担当  
脇 阪 孝 講師  
(歯科放射線学)



学生生活担当  
北井 則行 教授  
(歯科矯正学)



教務担当  
都尾 元宣 教授  
(可撤性義歯学)



教務担当  
吉田 隆一 教授  
(歯科保存学)



学生生活担当  
北後 光信 講師  
(歯周病学)

#### 六学年



教務担当  
磯崎 篤則 教授  
(口腔衛生学)



教務・学生生活担当  
澁谷 俊昭 教授  
(歯周病学)

( ) は担当授業科目

## 指導教授・指導教員からひと言

### 定期試験では全科目合格を最低目標に

一学年指導教授 後藤隆泰  
(物理学)

一年生は夏休み明けの前期定期試験において、入学後、最初の試験を受けます。「追・再試験で受ければ良い」という考えは、六年後の国家試験で苦しい思いをするに繋がります。まず、定期試験ですべての科目に合格することを最低の目標にして下さい。

定期試験で合格するには日頃の勉強が重要です。講義を聴いてノートをとり、教科書を読んで復習をする、この当たり前なことの繰り返しですが極めて大切です。教科書を何回も読んでいけば、意識してページを覚えている訳ではなくても目的の用語にすぐに辿り着けるはず。また、しっかりと勉強ができた科目の試験では、できた箇所とできなかった箇所がはっきりと分かり、たとえ一問でもできなかった箇所が気になって、決して「できた」とは思わないものです。反対に、一夜漬けの場合、何となく書けたことを「できた」と思っています。運よく合格できてもぎりぎりのはずです。

今年から定期試験の合格点が六五点になります。益々、日頃の勉強が大切になります。「ご父兄の皆様には、追・再試験で合格したら良いとするのではなく、定期試験での不合格は、日頃の学習習慣に問題があったとお考え頂きたいと思います。

### 四学年という一年

四学年指導教授 高井良招  
(高齢者歯科学分野)

四学年になると折り返し地点を過ぎ、学生生活にもすっかり慣れて一寸した安堵感が溢れています。しかし、学年末には共用試験(CBT、OSCE)が待つており、「ブレ国家試験」の色合いが強く六学年とほぼ同様の知識が必要であります。さりとて二年、三年での知識の集積が充分であるとは言い難い状況の中で、気持ちだけが焦っているようです。

今こそ、しっかりと腰を落着けて、机に向かう時ではないでしょうか。しかし、実際に机に向かうことは、なかなか辛いことであり、忍耐のいることでもあります。現実に分かつていても身体と心が儘にならないものです。なにがそうさせているのか、どうして気持ちが向かないのかをしっかりと見つめ直す時ではないでしょうか。

学生諸君の中に能力のない者は一人もいないと確信いたしております。ただ、学習することの大切さを忘れかけている学生が多いことは事実のようであります。ここで、もう一度、学生ご本人とご家族でよく話し合い、歯科医師になることをはっきりと覚悟する時であると思います。

覚悟が決まれば、迷うことなく目標に向かって進んでいけるものです。



# 学 年 暦

月 日	1～4 学年	5 学年	6 学年
7月23日(水)	前学期授業終了 (2～3 学年)		
7月24日(木)～ 8月30日(土)	夏季休業期間 (2～3 学年)		
7月25日(金)	前学期授業終了 (1 学年)	前学期授業終了	
7月26日(土)～ 8月30日(土)	夏季休業期間 (1 学年)		
7月26日(土)～ 8月26日(火)		夏季休業期間	
7月28日(月)	前学期授業終了 (4 学年)		
7月29日(火)～ 8月30日(土)	夏季休業期間 (4 学年)		
8月27日(水)～ 8月28日(木)		前学期定期試験期間	
9月 1日(月)～ 9月 8日(月)	前学期定期試験期間		
9月 4日(木)～ 9月 5日(金)		前学期追・再試験期間	
9月 8日(月)		後学期授業開始	
9月 9日(火)～ 9月11日(木)	前学期科目補講期間		
9月12日(金)～ 9月20日(土)	前学期追・再試験期間		
9月22日(月)	後学期授業開始		
10月24日(金)～10月26日(日)	朝日祭 (休講)	朝日祭	朝日祭
12月25日(木)～ 1月 5日(月)	冬季休業期間		
12月26日(金)～ 1月 5日(月)		冬季休業期間	
1月19日(月)	創立記念日 (休校)	創立記念日 (休校)	創立記念日 (休校)
1月26日(月)	後学期授業終了		
1月27日(火)～ 2月 5日(木)	後学期定期試験期間		
2月 6日(金)～ 2月10日(火)	後学期科目補講期間		
2月 7日(土)		後学期授業終了	
2月 9日(月)～ 2月10日(火)		後学期定期試験期間	
2月12日(木)～ 2月19日(木)	後学期追・再試験期間		
2月19日(木)～ 2月20日(金)		後学期追・再試験期間	
2月23日(月)～ 2月26日(木)	科目補講期間 (年度末再試験受験者対象)		
2月27日(金)～ 3月 5日(木)	年度末再試験期間		
3月 5日(木)～ 3月 6日(金)		年度末再試験期間	
3月12日(木)			学位記授与式

\* 共用試験 (4 学年対象) の実施日程については、別途案内します。

また、上記学年暦は 5 月 1 日現在のものであり、今後変更になる場合があります。

教育後援会  
ホームページ

教育後援会では、活動の一環として、各父兄間の情報伝達をより緻密なものとするのと同時に、学生にも我々父兄の考えや活動を知ってもらい、学業の向上を図る意味合いを考え、教育後援会のホームページを開設しております。情報量はまだまだ不十分と考えますが、順次内容の充実を図っていく計画ですので、是非一度下記アドレスにアクセスして見てください。

ホームページのアドレスは、<http://www.asahi-udkk.jp> です。

## 【教育後援会からのお知らせ】

平成 20 年度教育後援会会員名簿を 5 月 16 日にご送付させていただきました。

まだお手元に届いていない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

また、変更・訂正等がございましたら、巻末綴じ込み用紙にご記入の上、FAX にてご連絡ください。

